



LEOBRITZ S400

取扱説明書

目次

安全上の注意-----	1~7	操作方法 (詳細)-----	32~37
ご使用上の注意-----	1~7	1.船べり自動停止-----	32
電源について-----	8,9	船べり自動停止-----	32
電源とのつなぎ方-----	8	2.えらべる船べり自動停止-----	33
電源について-----	8	えらべる船べり自動停止-----	33
バッテリーチェック表示について-----	9	3.糸送り機構-----	33
コードレスバッテリー取付け方法-----	9	糸送り機構-----	33
お手入れ方法 -----	10,11	4.コマセタイマー -----	34
リールのお手入れについて-----	10	コマセタイマー -----	34
お手入れ方法-----	10	コマセタイマー巻上げ-----	34
コード取扱い上のご注意 · コードのお手入れについて-----	11	5.シャクリ-----	35
コードのお手入れのしかた -----	11	えらべる名人シャクリ-----	35
その他お手入れ上のご注意 -----	11	6.その他の便利機能 -----	36
スイッチの名称と働き -----	12,13	いろいろアラーム-----	36
各部の名称と機能 -----	14,15	アラームON・OFF選択-----	36
道糸入力方法 -----	16~21	カウンターランプ-----	36
「指定入力編」-----	16,17	7.ハンドルノブの取り外し方-----	37
「リールに巻く糸の長さがわかる編」--	18,19		
「下巻き入力」-----	20,21		
機能設定操作 -----	22~31	仕様一覧-----	38
1.モード画面の使い方 -----	22~24	リール仕様一覧-----	38
便利機能の設定のしかた -----	22~24	カウンター部仕様-----	38
2.釣りを始める前に-----	25		
水面ゼロ設定-----	25	展開図-----	39
3.えらべる船べり自動停止 -----	26		
えらべる船べり自動停止 -----	26	故障かな?と考える前に-----	40
道糸が切れてしまったら -----	26		
4.底からカウンター-----	27		
底からカウンター -----	27		
5.シャクリ-----	28		
シャクリ-----	28		
6.えらべる名人シャクリ-----	29		
えらべる名人シャクリ-----	29		
7.コマセタイマー巻上げ-----	30		
コマセタイマー巻上げ-----	30		
8.表示補正-----	31		
表示補正-----	31		

この度は、レオブリッツS400をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきりますようお願い申し上げます。

安全上の注意

電動リールをご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

●マークについて



この記号は「**してはいけないこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。



この記号は「**注意すべきこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。



この記号は「**しなければならないこと**」を意味しています。
この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

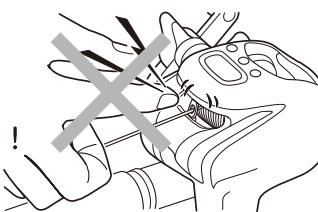
⚠ 警 告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 糸をスプールに平行巻きにするレベルワインドと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



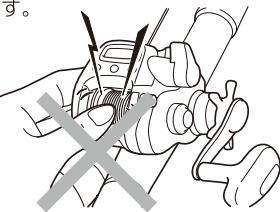
接触注意！



- 糸送り（モーター作動）中にクラッチをONにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



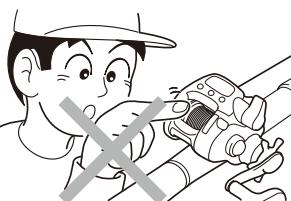
接触注意！



- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。



取扱注意！

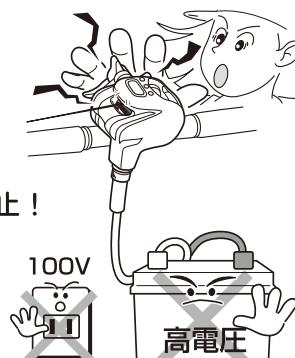


- バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ICが故障したりする恐れがあります。

家庭用（交流）電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



使用の禁止！



- 幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。



保管注意！



安全上の注意

!**警 告**

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用前に必ず当該各医用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



- ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。
大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。



使用の禁止！



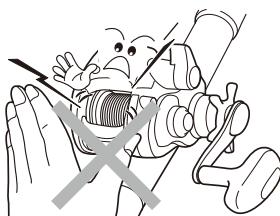
!**注 意**

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



接触禁止！



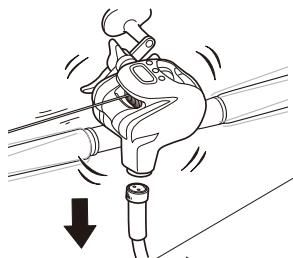
- 液晶中に水滴が見られる場合、モーターの回り放しなど！ICが故障して異常動作をすることがあります。すぐにご使用をやめて修理にお出しください。



使用の禁止！



- 何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。



電源を外す！



外す

⚠ 注意

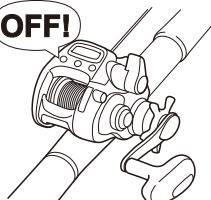
記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをOFFにしてください。手で糸を引いてセットする場合があるので、糸で手を切る恐れがあります。



電源を切る！

OFF!



- 糸が勢いよく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。



接触注意！



- 屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。また、電動巻上性能が低下することがあります。



取扱注意！



- 船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。

そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



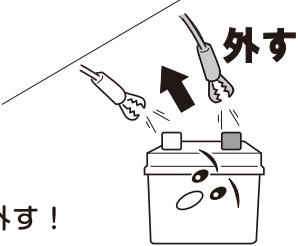
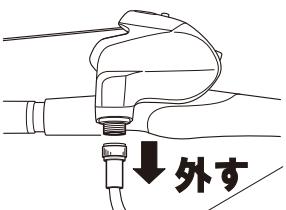
取扱注意！



- お手入れの際は、駆動を停止して、電源を抜いてから行ってください。不意に駆動して、けがをする恐れがあります。



電源を外す！



- 使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上のご注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上のご注意』を必ずお守りください。なお、コードの手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。



正しい取扱を！



安全上の注意

⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 根掛かりしたときは、竿をおおらず糸を手に取って切るようにしてください。（手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。）
太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



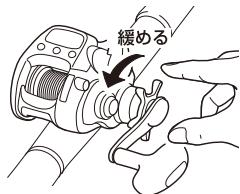
けがに注意！



- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。
IC故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



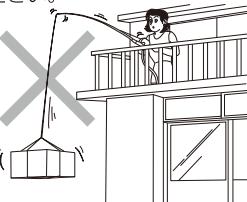
取扱の実施！



- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



目的以外の
使用禁止！



- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



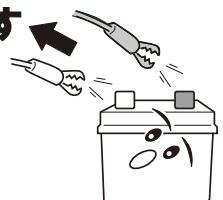
接触禁止！



- こげくさい時や漏電など、異常時には直ちに駆動を停止して電源を外してください。発熱や発火、感電などの原因になります。



外す



電源を外す！

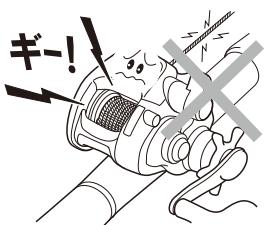
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。



取扱注意！



- ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。



使用の禁止！

⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。竿その他を破損する恐れがあります。



取扱注意！



- 分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。



改造の禁止！



- コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



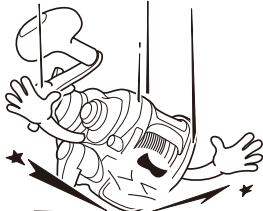
改造の禁止！



- 落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。（外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。）



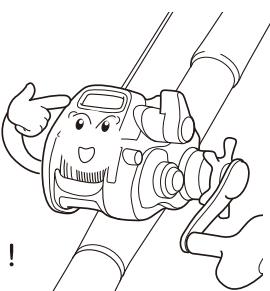
取扱注意！



- 使用途中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があつたりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。そのままで再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。



操作の実施！



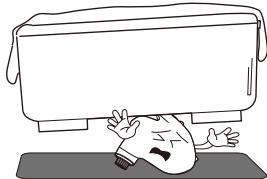
安全上の注意

取扱上のご注意

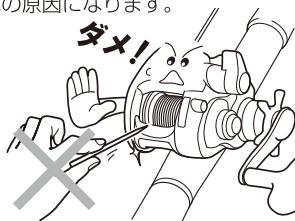
電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

! お願い

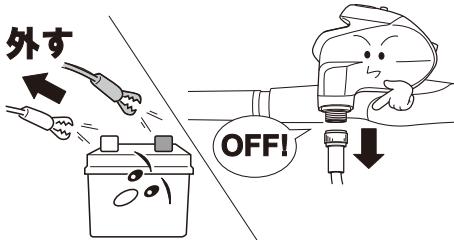
- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



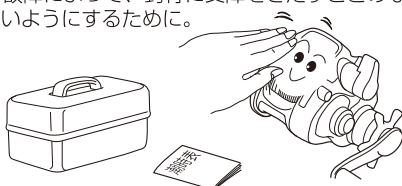
- スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



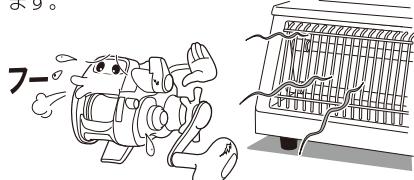
- 電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。



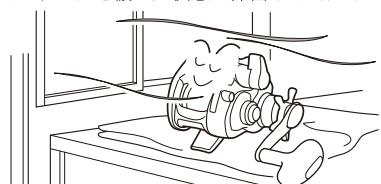
- 釣りにお出かけの前には、リールの点検（動作点検）を行ってください。
故障によって、釣行に支障をきたすことのないようにするために。



- 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。
また、ドラグを緩めた状態で保管してください。



- 塩分を含んだ海水で糸巻き部だけにあたるよう掛け海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



- 濡れたままビニール袋やバッカンなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。



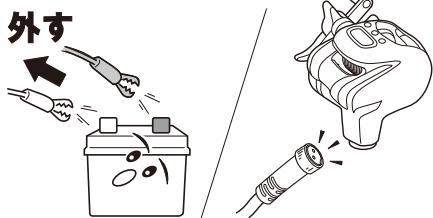


お願い

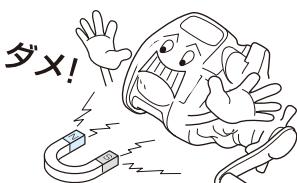
- 電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を薄めて使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。



- リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。



- 磁石等磁力のある物は近づけないでください。
誤動作や故障の原因になります。

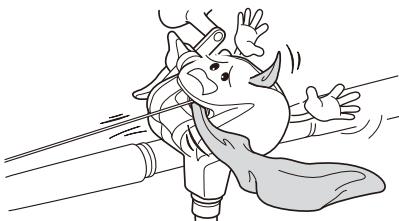


- 振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。
リールが破損する恐れがあります。

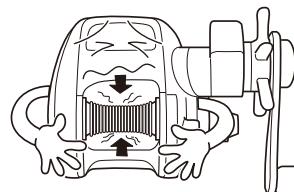


- 糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。

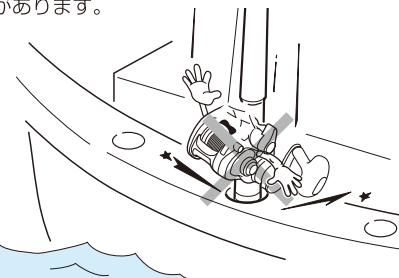
また、バックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



- 水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



- 船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当らないか確認してください。当る場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



◆カウンター部について

①偏光グラスの使用

②真冬(カウンターの表面温度-10℃以下)および真夏(カウンターの表面温度60℃以上)

上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなることがあります。ご了承ください。

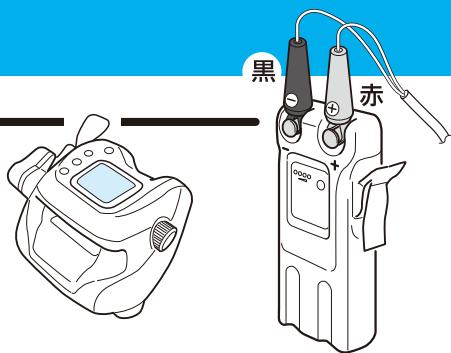
③早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますが異常ではありません。

電源について

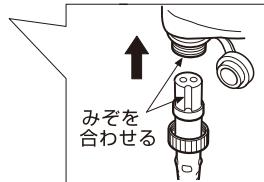
●電源のつなぎ方

1. まず、コードのクリップ(2つ)と電源をつないでください。

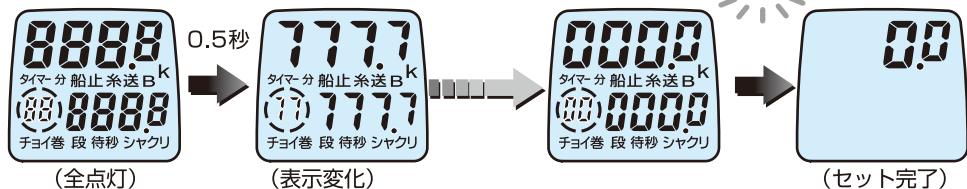
クリップは赤いカバーのほうがプラス $+$ 、黒いカバーのほうがマイナス $-$ です。



2. 次に、付属コードのコネクターとリール本体をつないでください。



※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



一度電源につなぐと、メモリーバックアップ(カウンター情報の保存)機能が働くため(最低15分間)、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

●電源について

このリールは直流(DC)12V対応の電動リールです。指定外の電源(たとえば、家庭用の交流(AC)100V、船装備の直流24Vなど)では使用できません。

また、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすいので、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまることがあります。

リールの性能を充分に發揮させるためにも、電動リール専用バッテリーをご使用ください。



- 出発前によく確かめてください。
- バッテリーは、長時間放置されると自然放電(残量低下)している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
- 船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。
- 端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

●バッテリーチェック表示について

通電時（巻上げ中または巻上げストップ時）に、電源電圧がDC9V以下になると、底からカウンター（下のカウンター）に電源電圧が点滅表示されます。モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。（船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。）



※図では、電圧が8.5Vしかないと示しています。（※1）

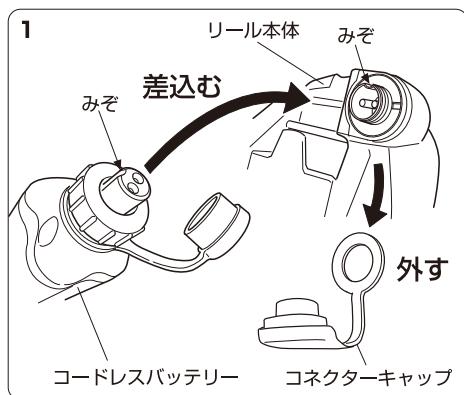
●コードレスバッテリー取付け方法

コードレスバッテリー（スーパーリチウムBMシリーズ）の取付け方法をご説明します。バッテリーは釣行前にあらかじめ十分に充電してください。

1. リール本体のコネクターキャップを外し、バッテリーと本体のみぞを合わせ差込みます。

⚠ 注意

- ・コードレスバッテリー本体を回さないでください。破損する場合があります。
- ・バッテリーの海中落下にご注意ください。
- ・コードレスバッテリー取扱等に関する詳細は、バッテリーの取扱説明書をお読みください。

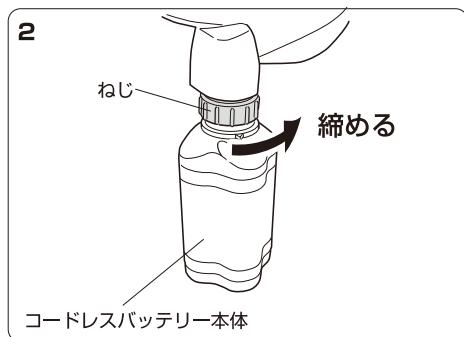


2. バッテリーのねじを締め付けます。

※ご使用の際は、ロッドホルダーや船べりにバッテリーが当たらないようロッドクランプの位置を調整してください。

⚠ 注意

- ・コネクターキャップが残ったままバッテリーを取付けるとねじの締め付けが不完全なため、脱落の原因になりますので必ず、保護キャップは外してご使用ください。
- ・リールを洗う時や保管する際は、コネクターキャップを装着してください。



※残り容量約10%でリールの液晶表示に低電圧の電圧警告表示（※1）上図が表示されます。表示が出ましたら充電済のバッテリーに交換してください。電動巻上げ中は低電圧の警告表示ができないため、巻上げ状態が長く続くと残りの10%を使い切り、突然止まる可能性があります。バッテリーが切れた状態で、手巻きで糸を巻いてしまい（魚とのやりとり等で）次のバッテリーで電動巻上げした時に糸を巻込み、竿先を折る可能性がありますのでご注意ください。

お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは、水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後でコマセ汚れなどをきれいに洗い流してください。

●お手入れ方法

1.柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は中性洗剤のみを薄めて使用してください。

推奨洗剤：リール用洗剤

爽快釣行リールウォッシュ
(部品コード：04920379)

※使用量目安：水1ℓに対して1.5mℓ

液体（薬用）石鹼など石鹼類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2.水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

3.よく水を切り、陰干してください。

※保管の際は、ドラグを緩めてください。

※ハンドルノブ内部には水がたまりやすいため、特に注意して水切りをしてください。

4.注油してください。

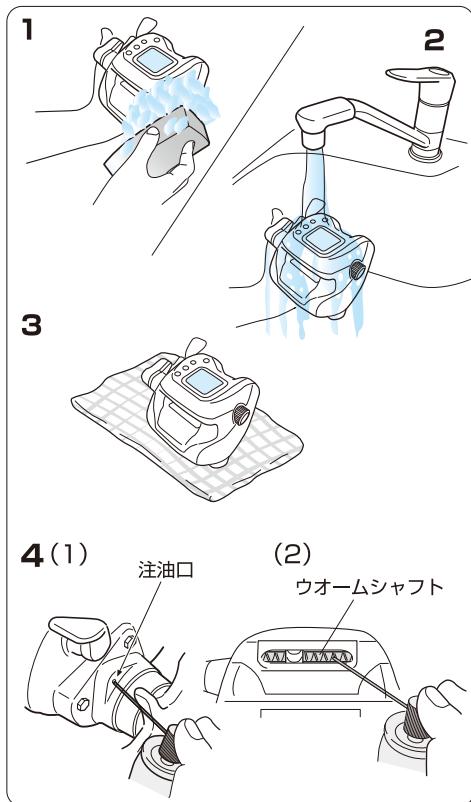
(1) サイドプレートの注油口からショットヒューズと吹き注油してください。注入量が多すぎるとオイルが流れ出ることがありますので注意ください。

※CRBBオイルスプレー以外は、絶対に注油しないでください。リールの性能が発揮されません。

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。
部品コード：199695

(2) ウォームシャフト部へショットヒューズと吹き注油します。

- ・海水で洗ったり水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- ・注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もありますので、のぞき込まないでください。
- ・水抜き穴への注油は厳禁です。
- ・本体に磁力を近づけないでください。

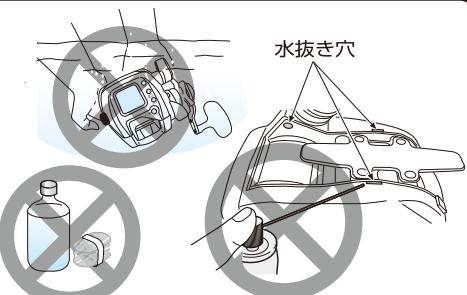


※推奨グリス：純正リールガードグリス

(商品コード：04980020)

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。

!
注意



●コード取扱い上のご注意・コードのお手入れについて

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。

※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。

コードは大切にしてください。



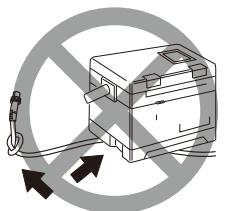
・コードを持ってリールをぶら下げるなどは、おやめください。



・リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けるなどは、おやめください。



・コードを水洗いすることは、おやめください。

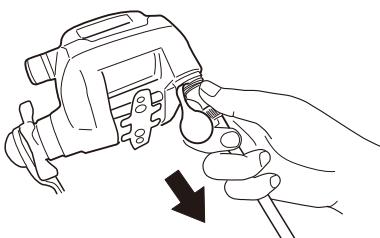


・コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。

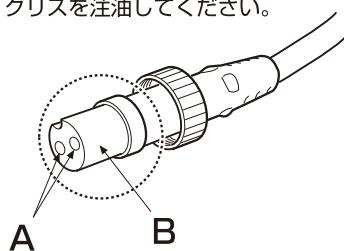
●コードのお手入れのしかた

- ・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
- ・特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
- ・乾燥後は、コネクター部の注油を行なってください。
- ・リールのコードは、本体から外して保管してください。

・コードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。



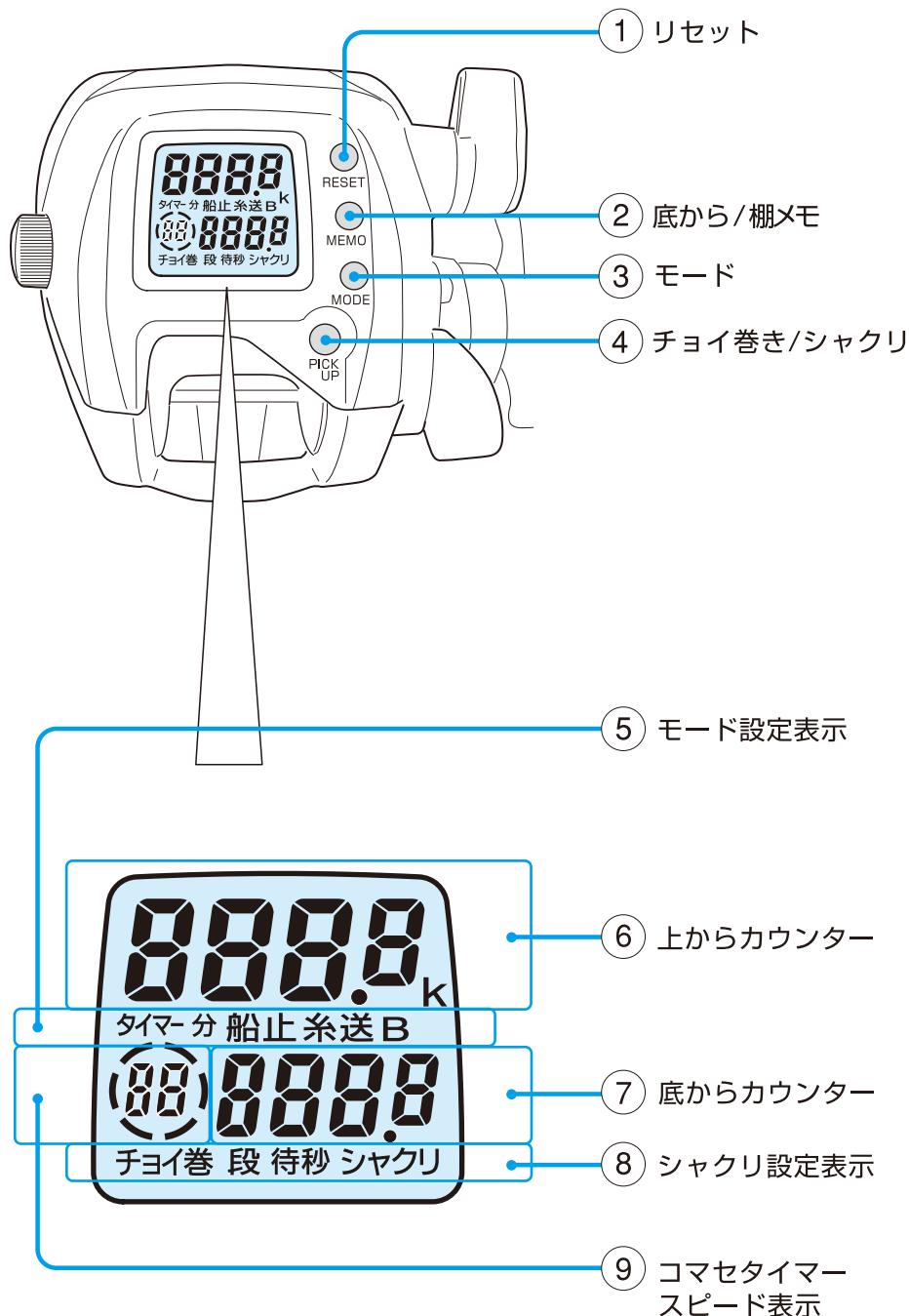
・A(ピン)、B(外周部)も洗浄しグリスを注油してください。



●その他お手入れ上のご注意

- ・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客様ご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
- ・コネクター部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクターキャップでフタをしてください。
- ・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。

スイッチの名称と働き



①リセット (RESET)

- RESET スイッチを押すと、上のカウンター（水深カウンター）が [0.0] mになります。
※釣りを始める前に、RESET スイッチを必ず1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。
(画面に [船止] の表示が出ます。) 船べり自動停止の初期設定は、[2.0] mにしてあります。
- RESET スイッチは誤操作防止のため、10m以上では、2秒押しとなっております。
- ※25ページ参照

②底から/棚メモ (MEMO)

- MEMO スイッチを押すと、下のカウンター（底からカウンター）が [0.0] mとなり、狙いの棚がメモリーされます。
- 下のカウンター（底からカウンター）を見ながら棚とりを行えるので、誰でもかんたんに、しかも正確にできます。
 - コマセタイマーは、このスイッチを押すと再スタートします。
- ※27ページ参照

③モード (MODE)

- MODE スイッチを押すと、各種便利機能の「設定画面」が選べます。
- 数値の設定はすべてパワーレバーで入力します。
 - 数値の入力が終わったら、MODE スイッチを押して、次のモードに移った段階でセット完了。
 - スイッチを押すごとに、画面が「コマ送り」になります。
 - スイッチを押し続けると「早送り」になり、「水深」画面に戻ります。
- ※22~24ページ参照

④チョイ巻き/シャクリ (PICKUP)

- モード設定で、チョイ巻きとシャクリどちらかの選択ができます。
- チョイ巻き
 - PICKUP スイッチを押している間、電動で巻き上げることができますので、糸かけを取る時や、誘いをする時などに便利です。
 - 巻き上げの速さは、モードを開いて 0 ~ Hiまで変えることもできます。(初期設定は 15 になっています。)
※巻上げ速度を 0 にした場合は、スイッチを押しても巻き上げしません。また、カウンター画面に [チョイ巻] 表示は出ません。

・シャクリ

- 電動シャクリのON/OFFができます。
- スイッチを押すと、電動シャクリがスタートします(画面に [シャクリ] 表示が点滅します。)
- もう一度スイッチを押すと、電動シャクリがストップします。

※28,29,35ページ参照

⑤モード設定表示

- べんり機能の設定画面を表示します。
- セットして作動する機能は、表示が点灯します。
- 誤操作防止のため、設定画面にするには2秒押しになっています。

[シャクリ] が点灯 → シャクリ設定時に、スイッチを押すと電動シャクリがスタートします。もう一度スイッチを押すと電動シャクリがストップします。

[タイマー] が点灯 → コマセタイマー巻上げが作動します。

[糸送] が点灯 → 糸送りが作動します。初期設定は OFF にしてあります。

[船止] が点灯 → リセットスイッチを押すと、点灯します。(水面リセットしないと、船べり 5.0m で船べり停止します。)

[B] が点滅 → 電源電圧が低下した時、点滅します。([B] は MODE スイッチを押しても表示しません。)

⑥上からカウンター

- 上(海面)からの水深を表示します。

⑦底からカウンター

- 底(棚)からの水深を表示します。
(初期通電時は、消灯しています)
- 一度底からカウンターを表示させると、表示を消すことはできません。

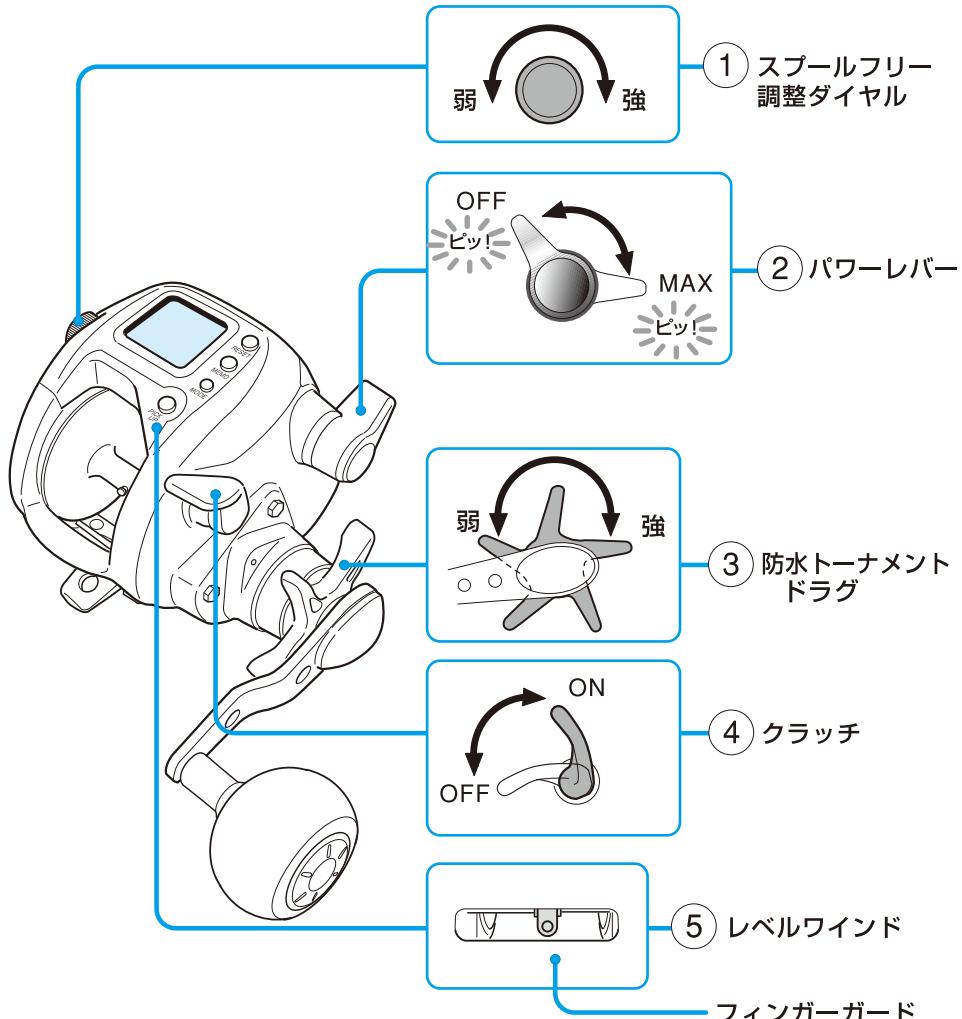
⑧シャクリ設定表示

- シャクリ設定時のみ点灯します。(セットしても「水深」画面のときは点灯しません)

⑨コマセタイマー／スピード表示

- モーター回転ストップ時、仕掛け投入時間(コマセタイマー)を表示します。
- モーター回転中は、巻上げスピード(パワー)を表示します。
- コマセタイマー表示は消すことはできません。

各部の名称と機能



⑥ 付属品



取扱説明書



リール袋



コード



糸通しピン



保証書

リセット	モード
底から棚メモ	チョイ巻シャクリ

日本語シール



ドライバー

①スプールフリー調整ダイヤル

- ・仕掛けを落とす時のバックラッシュ（糸フケによるパーマ）を防止するブレーキシステムです。船の揺れや仕掛けの重さなどにより締め付けがないを調節してください。

②パワーレバー

- ・レバー操作により巻上げパワー（スピード）が、ON/OFF(0)～MAX(Hi)まで32段階で自由自在に変速することができます。
- ・レバーを前に倒すと、パワー（スピード）アップします。
レバーを元に戻せば、パワー（スピード）ダウンします。
- ・巻上げを開始するとき、パワーレバーがOFFの位置にないときは、レバーを一度OFFの位置まで戻して（OFFの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。

③防水トーナメントドラグ（ドラグノブクリック付き）

- ・スタードラグの締め付けを調節することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。
①リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。
②クラッチONの状態で、手で糸を引き出しながらドラグの締め付けを調節します。通常は、糸（ハリス）が切れる寸前にスプールが空転するよう調節します。

④クラッチ

- ハンドルを回せば自動でクラッチがONになります。
- ・ONの時→ハンドル、電動で糸を巻き取れます。
 - ・OFFの時→スプールがフリーになり、糸を出すことができます。

⑤レベルワインド

- ・ガイドに糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。

※レベルワインド機構は、その作動クリアランスにより、糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。

⑥付属品

- ・コード
- ・リール袋
- ・取扱説明書
- ・保証書
- ・日本語シール
- ・ドライバー
- ・糸通しピン

レベルワインドに糸を通すときに使います。（糸通しピンは、付属品としてビニール袋に、リール袋と一緒にっています）

道糸入力方法「指定入力編」

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

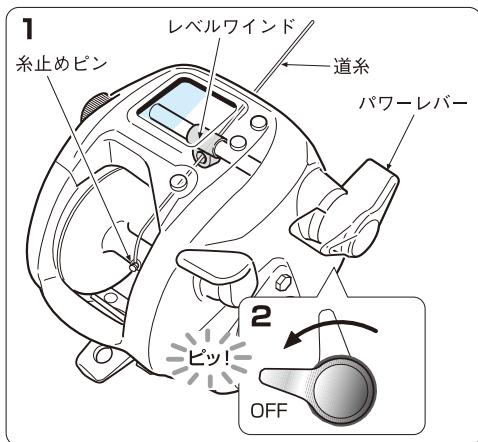
- ・下巻きをしない場合
- ・17ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2.パワーレバーをOFFまで戻します。



3.リールを通電させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8電源とのつなぎ方を参考ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

※糸を巻き込まないように注意してください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようご注意ください。

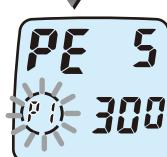
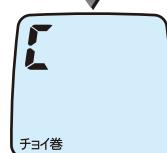
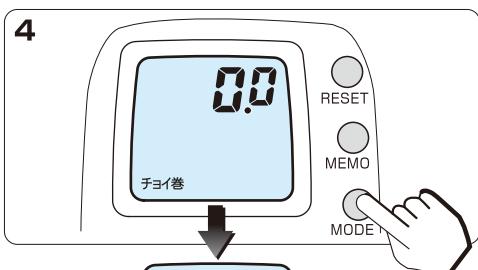
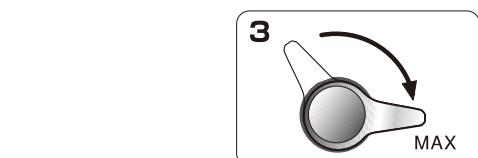
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

4.表示が0.0のときにMODEスイッチを5秒間押し続けてください。

5.初期設定PE5号-300mの画面になりP1が点滅します。

6.パワーレバーで、数値をセットし、MODEスイッチを押せば完了です。

(0.0 に戻ります。)



PE (左上の表示がPEの場合) (m)					
3号	100	200	300	400	430
4号	100	200	300	350	
5号	100	200	300		
6号	100	200	220		

※レオブリッツ S400には、あらかじめタナセンサーブライト5号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライト5号-300m巻く場合は、データのインプットは不要です。

※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。フロロ・ナイロンラインのご使用はスプール破損の恐れがありますのでおやめください。

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。

当社棚センサーブライト以外の道糸を巻く場合は、この方法で入力してください。

- 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

注意

・標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。プロロカーボンライン・ナイロンラインはスプール破損の恐れがありますのでご使用はおやめください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

- パワーレバーをOFFまで戻します。

- リールを通電させ表示が **0.0** のときに MODE スイッチを5秒間押し続けてください。

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

- 初期画面になります。

(P1) が点滅します。)

- もう一度 MODE スイッチを押します。

(P2) が点滅します。)

- パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

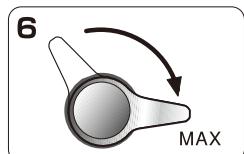
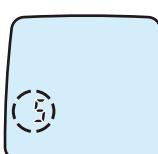
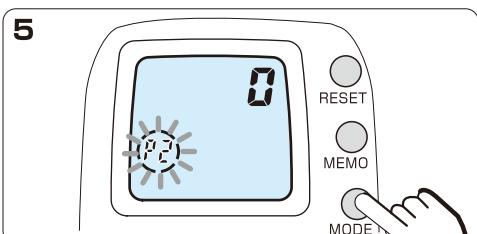
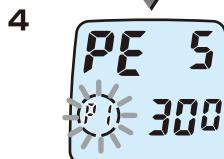
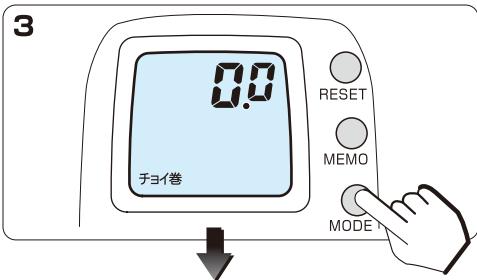
パワーレバーを倒すと (P2) がテンション表示に変わります。

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えています。(スプールの回転数を表示します。)

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。

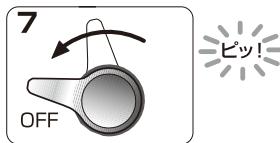
糸があたらないようにご注意ください。



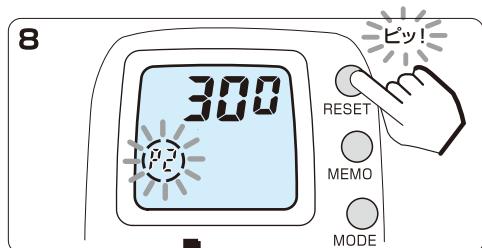
7. 巻き終えたらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

!**注意**

- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

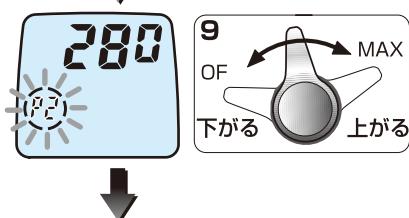


8. **RESET**スイッチを2秒以上、表示が**300**になるまで押してください。
(300は初期値です。)



9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

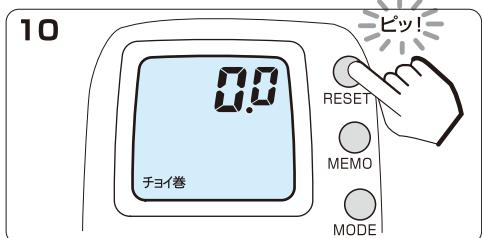
(図は、280m入力した場合です。)



10. **RESET**スイッチを2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が**0.0**になれば完了です。)

* **Err**になった場合は、糸を抜いて手順3から再度入力をしてください。**MODE**スイッチを押せば、**0.0**に戻ります。)



道糸入力方法「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

- リールを通電させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

注意

・標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。フロロカーボンライン・ナイロンラインはスプール破損の恐れがありますのでご使用はおやめください。

- スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

- 道糸と下巻き糸を結び、道糸の色を見ながら残り100mまで巻取ります。

※用意した道糸量が100mの場合は、3へ。

- MODEスイッチを5秒以上押します。

(指定入力画面になり P1 が点滅します。)

※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

- さらに MODE スイッチを2回押すと下巻きモードになります。

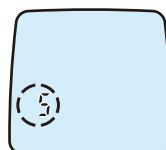
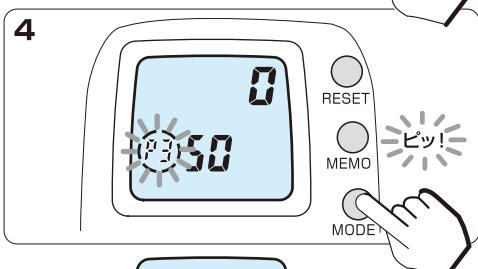
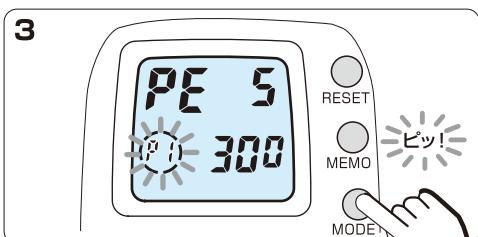
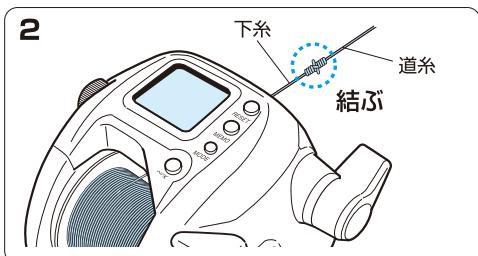
(P3 が点滅します。)

パワーレバーを倒すとパネル左下の数値がテンション表示に変わります。

巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

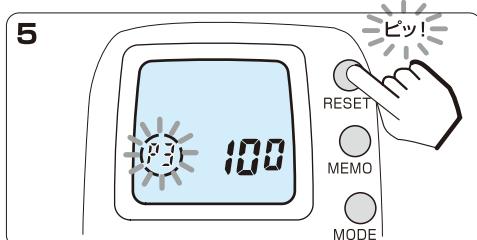
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。



5.道糸の色に注意しながら50m巻き取り、
RESETスイッチを2秒以上押してください。

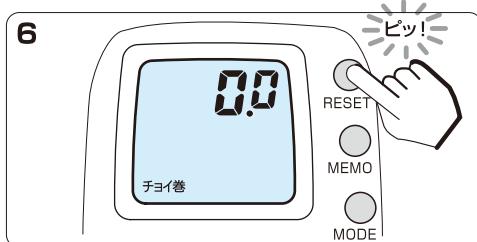
(下の数字が50から100にかわります。)



6.同様に残りの50m巻き、RESET
スイッチを2秒以上押してください。

(表示が [0.0] になり、完了です。)

※ [Err] になった場合は、糸を抜いて手順3から
再度入力をしてください。MODEスイッチを
押せば、[0.0] に戻ります。)



- この下巻き入力で入力した場合は、100mを超える部分の表示精度は保証されません。巻いた糸全体の表示を確実に行う場合は「指定入力編」か「リールに巻く糸の長さがわかる編」で入力してください。

機能設定操作 1.モード画面の使い方

●便利機能の設定のしかた

- ・モードの中には便利な機能が満載されています。
- ・設定画面でパワーレバーを操作して数値を入力し、MODEスイッチを押して次の画面にすればセット完了です。※指定した機能は、次の釣行もメモリーされています。

1. MODEスイッチを押してセットする画面を選びます。

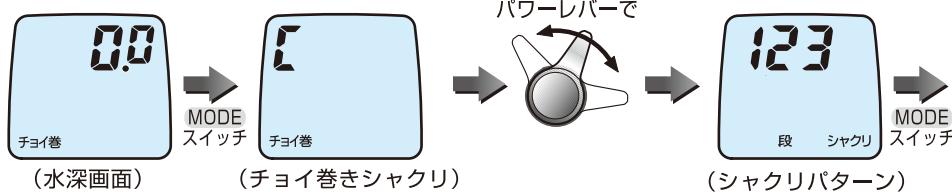
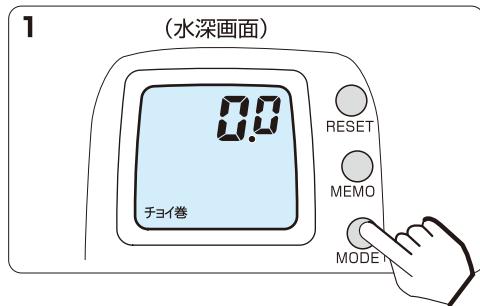
MODEスイッチを押すたびに、設定できる機能の表示が変わります。

※誤操作防止のため、2秒押しになっています。

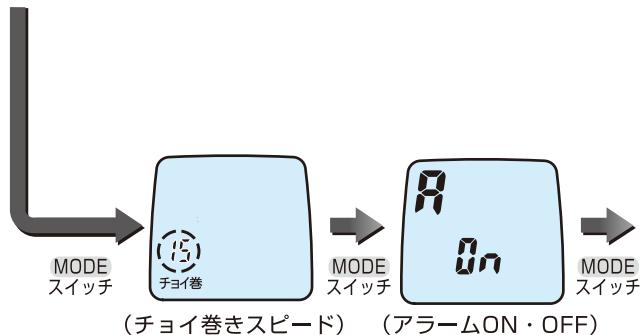
※ MODEスイッチを押し続けると、画面が早送りされ水深画面に戻ります。

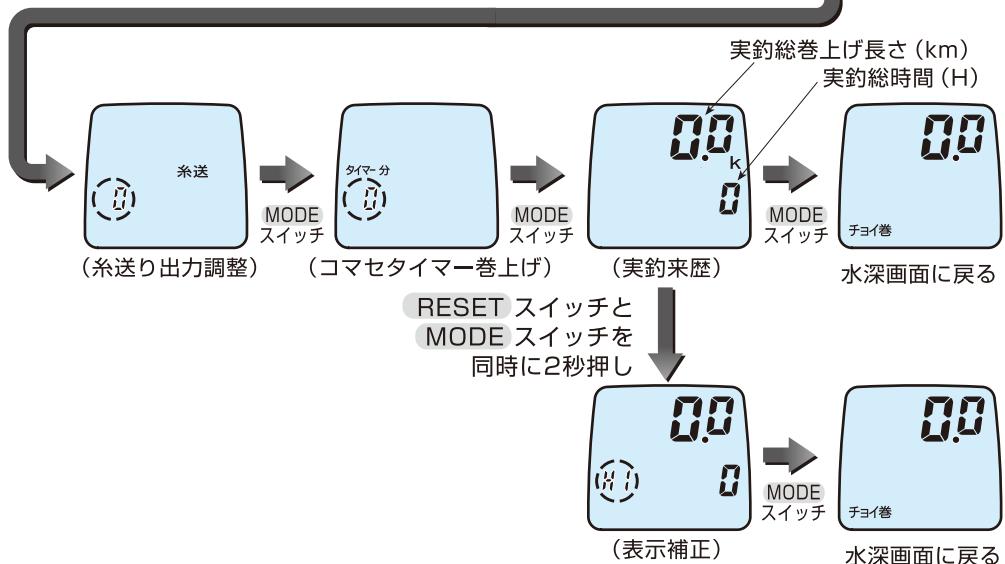
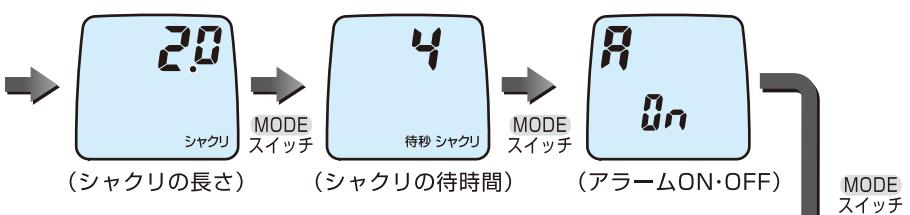
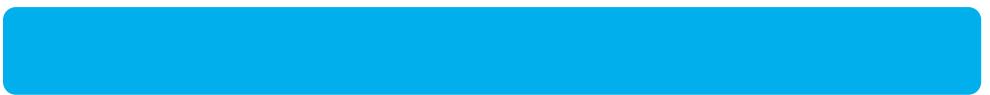
※モード画面で、設定値を変更しても、各画面でRESETボタンを押せば、初期設定に戻ります。

※指定した機能は、次回の釣行もメモリーされています。



注) PICKUPスイッチがシャクリにセットされている場合は、シャクリパターン選択画面が最初に表示されます。

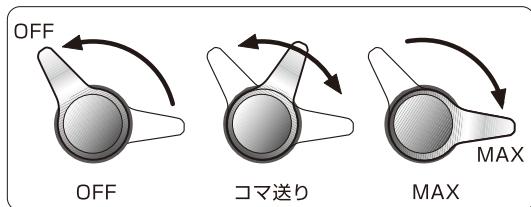
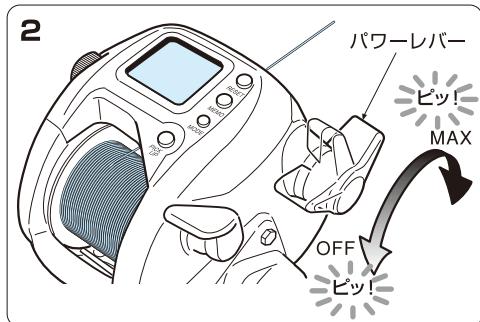




機能設定操作 1.モード画面の使い方

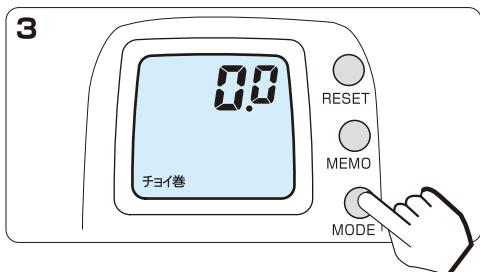
2.パワーレバーで数値をセットします。

- ・パワーレバー「MAX」は数値の早送り、「OFF」は数値の早戻しになります。
- ・パワーレバーの「MAX」と「OFF」の間は数値のコマ送りになります。



3. MODE スイッチを押します。

- ・表示が次の画面に移ったらセット完了です。
- ・MODEスイッチを押し続けると、画面が早送りされ水深画面に戻ります。



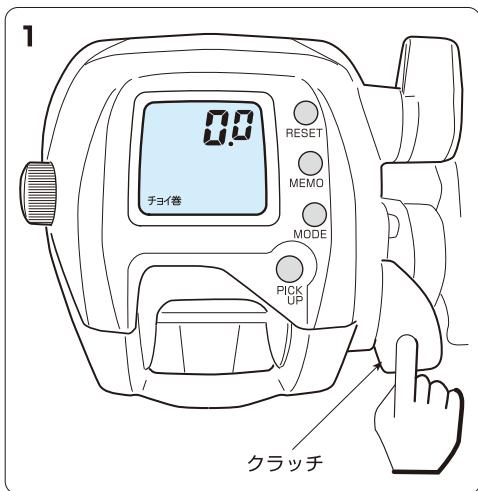
- ・設定画面のときにRESETスイッチを押すと、初期設定値に戻ります。

機能設定操作 2.釣りを始める前に

●水面ゼロ設定

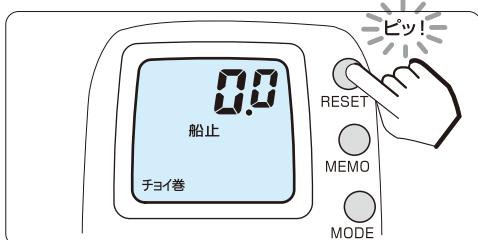
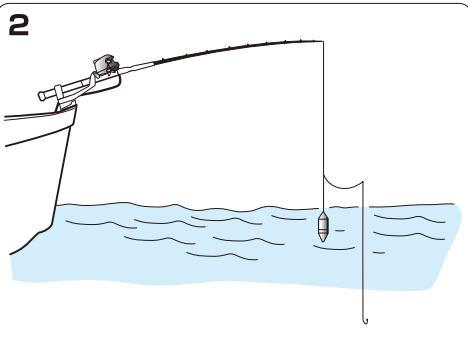
釣りを始める前に必ず行ってください。

1.コードをつなぎ、糸を出し、仕掛けをセットします。



2.竿を出し、仕掛けを下ろし、水面に仕掛け(ビシ等)があるときに
RESETスイッチを押します。
(水面ゼロ設定)

表示が [0.0] mになり 船止 が点灯します。



- 新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれことがあります。そのときは再度水面0セッティング(手順2)を行なってください。
- 道糸が切れてしまった場合は再度水面0セッティング(手順2)を行なってください。
- 水深10m以上では、誤操作防止のため、RESETスイッチは2秒押しとなっています。

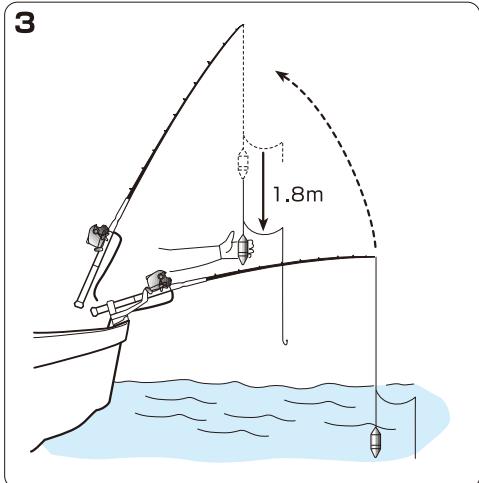
機能設定操作 3.えらべる船べり自動停止

●えらべる船べり自動停止

3.ロッドを立てて、ビシの取りやすい位置や、取り込みのしやすい位置まで糸を出します。

図の場合は1.8m

※えらべる船べり自動停止は、1m～5mまで10cm単位でセットすることができます。



便利

コマセ釣りの場合

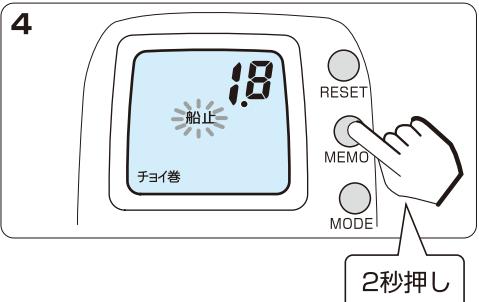
- ・竿を立てたときビシがちょうど手元にくるように設定すれば、手返しに大変便利です。

4.その位置で MEMO スイッチを約2秒間押し続けます。

【船止】が点滅すれば、セット完了です。

※初期設定は2.0mです。

※設定が完了すると、【船止】ランプが点滅します。



●道糸が切れてしまったら

- ・道糸が切れてしまった場合、糸切れ修正を行なってください。
- ・切れたライン分のラインデータを修正します。通電状態のまま竿先まで巻き上げ、RESETスイッチを2秒以上押してください。

表示が [0.0] になれば完了です。

※上記の作業によってラインデータが上書き（修正）されます。

※糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので、

RESETスイッチの長押しはしないでください。

機能設定操作 4.底からカウンター

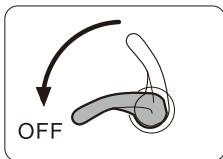
●底からカウンター

上からも底からも測れる2つのカウンターが棚を両面攻撃。

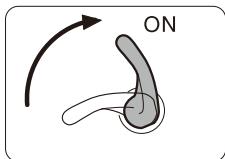
(水深100m、底6mで釣りをする場合を例にします)

・前ページの手順4からの続きです。

5.仕掛けを投入してクラッチOFFにします。

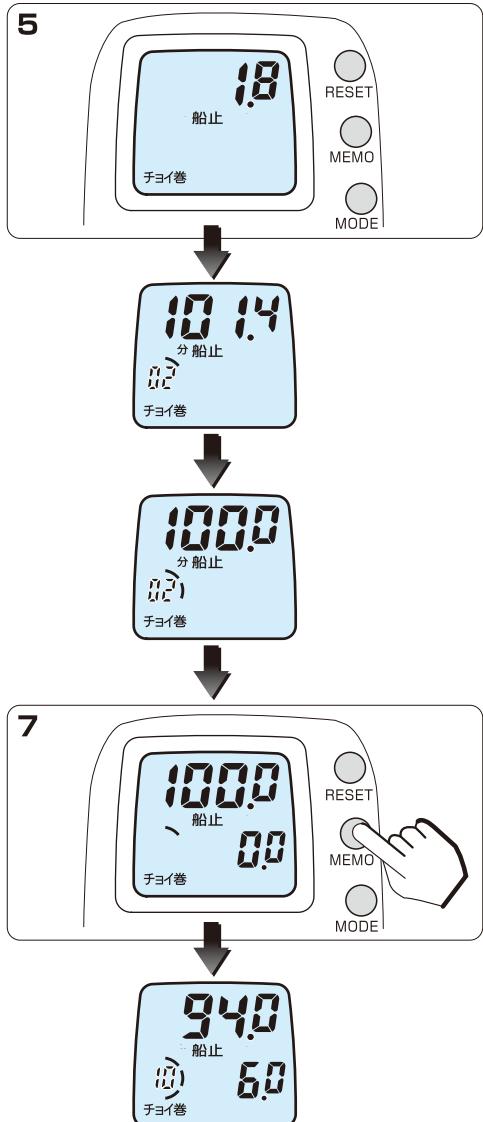


6.着底したら、ハンドルを回すか、手でクラッチを返してクラッチをONにします。



7.糸掛けを巻き取ってから、
MEMOスイッチを押し、棚までの距離（例：6m）を巻き上げます。

MEMO スイッチを押すと、下のカウンター表示が **0.0** mになりますので、カウンターを見ながら必要なだけ巻き上げてください。
また、タイマーも0からスタートします。



機能設定操作 5.シャクリ

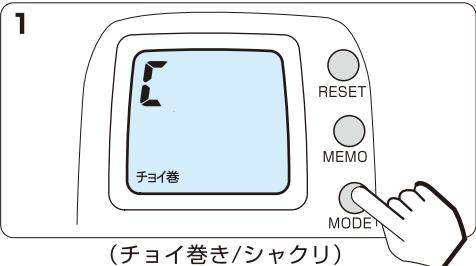
●シャクリ

電動リールにさそいをさせる便利な機能です。

1. MODEスイッチを2秒押してチョイ巻き/シャクリ画面にします。

※シャクリを設定した場合は、チョイ巻きはできません。

※初期設定はチョイ巻きになっています。

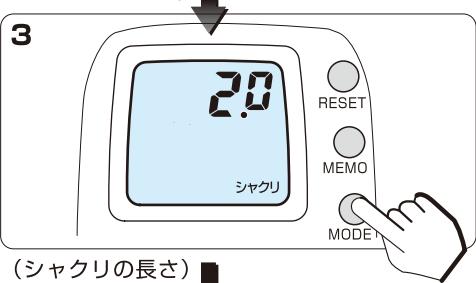


2. パワーレバーでシャクリのパターンをセットします。

シャクリ画面設定は、
パターン→長さ→待時間の順です。
(段) (m) (秒)



3. MODEスイッチを押して次の画面に入ったらセット完了です。



4. 同様に長さ(m)→待時間(秒)を設定してください。

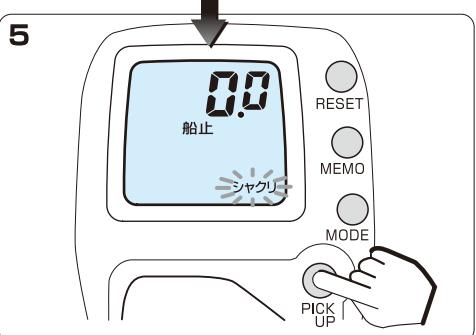
シャクリの設定画面で PICKUPスイッチを押すと、セットが完了し水深画面へ戻りシャクリがスタートします。

・ MODEスイッチを長押しすると画面が早送りされ、水深画面に戻ります。



5. PICKUPスイッチを押してパワーレバーで速度を設定すると、シャクリがスタートします。

・画面に [シャクリ] が点灯します。
(巻上げ中は[シャクリ]が点滅します。)
(シャクリの速さはパワーレバーで調整してください。)



機能設定操作 6.えらべる名人シャクリ

●えらべる名人シャクリ

シャクリのパターン・長さ・待ち時間が自由に選べます。

・シャクリ画面にするには、16.22ページを参照ください。

①シャクリのパターン

1回のシャクリの長さを「何段」でシャクリをさせるかが選べます。



123

段 シャクリ

(初期設定)

②シャクリの長さ

1回のシャクリの「長さ」を選べます。（オモリの号数や、シャクリのスピードによっては、多少長さがオーバーランすることがあります）
※0.5～10mの範囲を50cm単位で設定できます。



2.0

シャクリ

(初期設定)

③シャクリの待ち秒

シャクリとシャクリの「間隔（待ちの時間）」を選べます。

※間隔は1秒単位で設定できます。



4

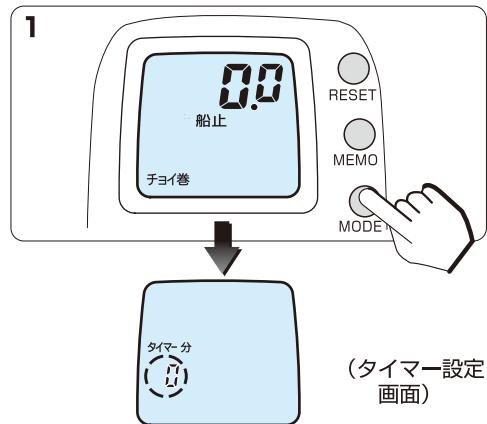
待秒 シャクリ

(初期設定)

機能設定操作 7.コマセタイマー巻上げ

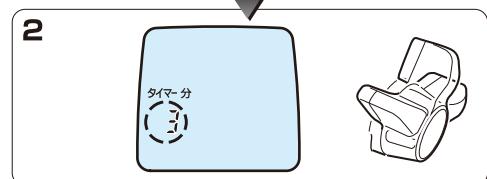
●コマセタイマー巻上げ

1. MODE スイッチを押してタイマー設定の画面を表示します。



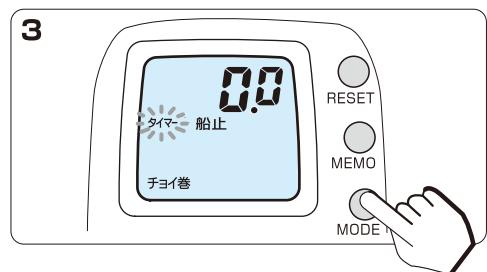
2. パワーレバーで数値（分）をセットします。

（図はタイマー巻上げを3分にセットした場合です。）



3. MODE スイッチを押し、表示が水深画面に移ったらセット完了です。

- 画面に「タイマー」が点灯します。
- MODEスイッチを長押しすると画面が早送りされ、水深画面に戻ります。



- セットした時間は MEMO スイッチを押して確認できます。

4. セットした時間がくると、自動的に仕掛けを船べり停止位置まで巻き上げます。

- 巻き上げ前にアラームが鳴り、Hiスピードで巻き上げます。（アラームをOFFにしている場合はアラームは鳴りません。）



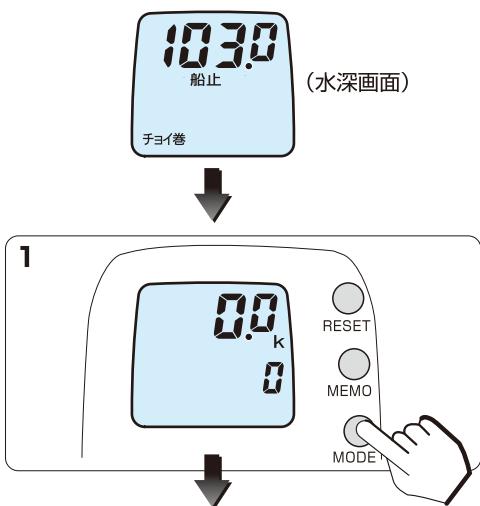
機能設定操作 8.表示補正

●表示補正

カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時補正することができます。

(例) 糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示103mを、糸色100mに合わせ補正する場合。

1. MODEスイッチを押して実釣時間、総巻上げ長さの画面にしてください。

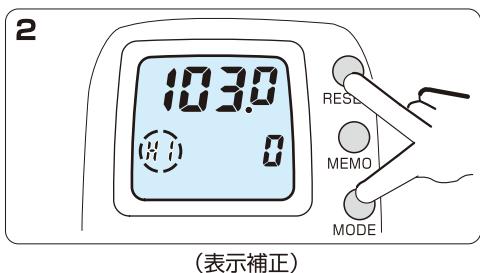


2. MODEスイッチとRESETスイッチを同時に2秒以上押してください。

表示補正画面になります。



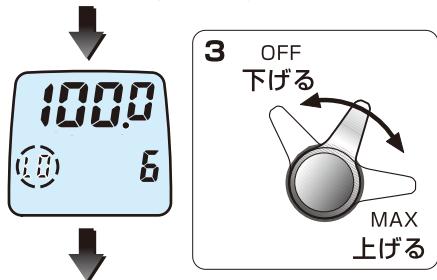
□が初期値です。



- 3.パワーレバーを、上のカウンターが100になるまで手前(OFF)に戻してください。

※下がりすぎてしまった場合は、MAXにすれば数値は上がります。

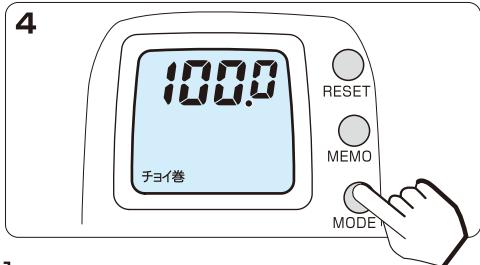
※100.0ちょうどにならない場合は、一番近い数字に合わせてください。



- 4.100にセットできたらMODEスイッチを押し、水深画面に戻れば完了です。

※表示補正を行うと底からカウンターは消滅しますので、使用する場合は、再度設定してください。

※補正画面の時、RESETスイッチを押せば、元の設定値に戻ります。

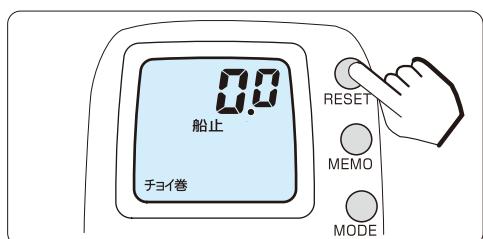
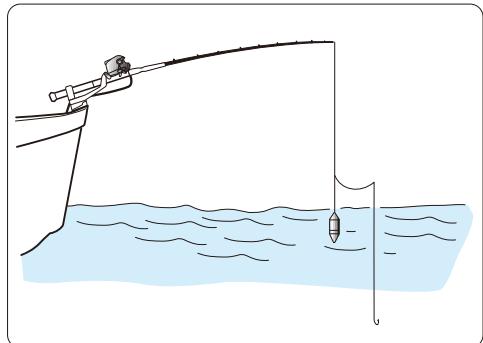


操作方法（詳細） 1.船べり自動停止

●船べり自動停止

よそ見をしていても船べりオートストップ。巻き込み安心、手返しラクラク。

- ・パワーレバー巻き上げ、シャクリ、コマセタイマー巻き上げいずれも船べりで自動的に巻き上げが停止します。
- ・仕掛けセットした後は、水深カウンター表示を合わせるために必ず仕掛けを水面（水深0m）にした状態で RESET スイッチを押し、カウンター表示を **[0.0]** mにしてください。
(液晶内に **船上** が点灯します)
- ・RESET スイッチを押してない場合、巻き込み防止のため、水深カウンター5mで自動停止します。
- ・水深「0」リセットなど、RESET スイッチを押した場合。
⇒水深カウンター8mから2mおきにお知らせアラームが鳴ります。水深カウンター2mで自動停止します。
- ・えらべる船べり自動停止で、停止位置をセットした場合。
⇒セットした停止点の6m手前より、2mおきにお知らせアラーム。セットした停止位置で停止します。
- ・船べり停止後は、パワーレバー操作にてカウンター **[0.0]** mまでは巻き上げますが、カウンター **[0.0]** m後は、誤操作による竿巻き込み防止のため RESET スイッチを押さない限り、パワーレバーでは巻き上げしません。
- ・船のゆれや、オモリの号数によっては、停止位置が多少オーバーランすることがあります。そのときは、設定値を増加させてご使用ください。
- ・水深100m以上で負荷の変動が大きい時は、停止位置のズレにより仕掛けを巻き込み、ロッドを破損する恐れがあります。このような釣りの際は、船べり停止位置を余裕をもって設定してください。



※水深0 セットして仕掛けを投入します。

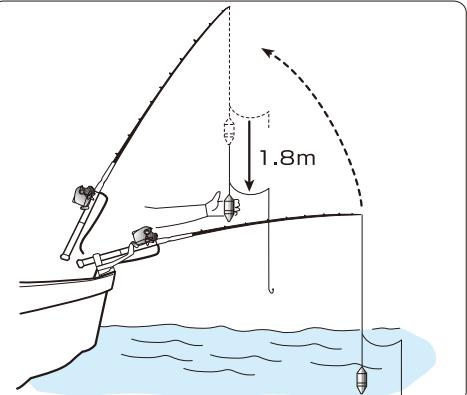
操作方法(詳細)

2.えらべる船べり自動停止 3.糸送り機構

●えらべる船べり自動停止

船べり停止位置が思いのまま、さらに手返しラクラク。

- ・えらべる船べり自動停止は、リセット点(0.0設定点)より1m~5mまで10cm単位で船べり停止位置をセットすることができます。特にコマセ釣りの場合は、船べり停止し、ロッドを立てればビシが手元にくるよう、えらべる船べり自動停止点をセットすれば手返しに大変便利です。
- ・糸ののびにより船べり自動停止の位置が下にズレてくるように感じことがあります。そのときは、再度、水面0リセットをやり直してください。

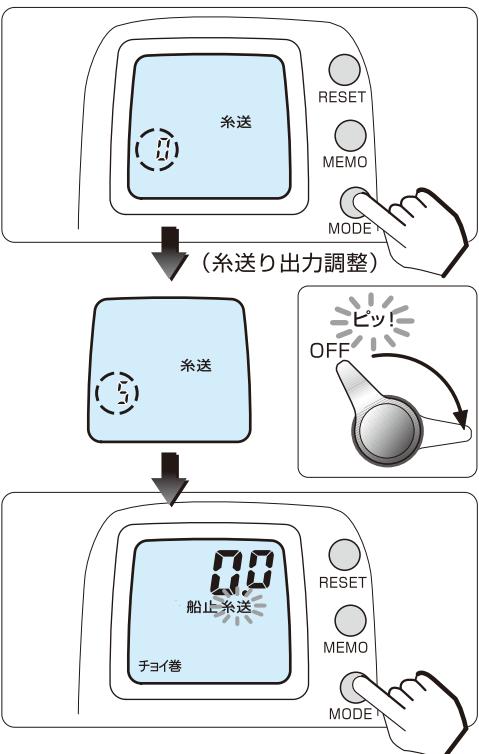


*そのまま竿を立てればちょうどビシが手元にくる長さにセットすると、手返しに大変便利

●糸送り機構

モーターギアが逆転し、糸を出す補助をします。

- ・糸送り出力を設定して仕掛けを投入(クラッチOFF)すると、糸送り機構が船べり停止位置プラス2.5mから作動します。
- ・船のゆれや、潮の速さにより、糸送りのパワーを調整することができます。(0~Hiまで32段階)糸送りを設定するには、「糸送り設定」画面にてパワー表示を設定してください。
- ・バックラッシュ等で一度糸送りが止まると再スタートはしません。



MODEスイッチを押して、「糸送り出力調整」画面にしてください。

初期設定は0にしてあります。

パワーレバーを奥に倒して出力設定してください。

MODEスイッチを押して、「水深」画面に戻して完了です。

(糸送が表示されます)



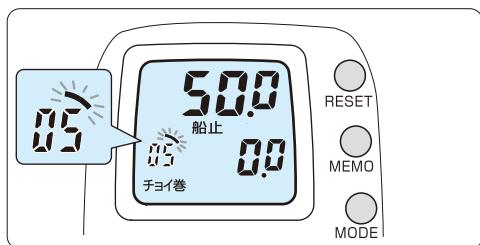
- ・糸送り(モーター作動)中にクラッチをONにすると、糸を巻き込むことがあります。
- 1.仕掛けが軽かったり、糸送りの出力が大きいと多少オーバーランすることがあります。
- 2.使用上問題はありませんが、気になる場合は糸送りの出力を弱めるか、糸送りをOFFにしてください。

操作方法(詳細) 4.コマセタイマー

●コマセタイマー

画面左下の数字がタイマー機能なので毎回、仕掛け投入経過時間をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利。

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。コマセ振りや仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・コマセタイマーは、水深カウンター7.0mよりオートスタートします。(タイマー表示はOFFにできません。)
- ・コマセタイマー表示は、船べり停止位置まで巻き上げると消灯します。
- ・画面左下の数字の外側が順番に点滅します。
- ・外枠の一つが10秒を表します。



※画面左下の数値は1分以内は秒単位、1分以上は分単位で表示されます。



- ・途中で **MEMO** スイッチを押した場合は、タイマーが **0.0** から表示がスタートします。

●コマセタイマー巻上げ

初心者もプロの手返し！。時間を設定すればリールが自動で巻き上がります。

- ・1回の投入の待ち時間を5分とリールに設定すれば、タイマーがスタートした時点より5分たてば、自動的にリールが手返しのため高速で仕掛けを巻き上げます。
- ・コマセタイマー巻き上げがセットされると、液晶内に **タイマー** が点灯します。解除するときは設定を **0** にしてください。**タイマー** が消灯します。
- ・セットした時間は **MEMO** スイッチを押すことにより、確認することができます。
- ・コマセタイマーの巻き上げの設定は、電動巻き上げ中以外はいつでもできます。



操作方法(詳細) 5. シャクリ

●えらべる名人シャクリ

シャクリのパターン・長さ・待ち秒が自由に選べる。

- PICKUP スイッチを押せばシャクリスタート、液晶内に[シャクリ]表示が点滅します。(もう1度押せば、シャクリOFFになります) そして、パワーレバーで好みのシャクリスピードにセットします。
- シャクリの変速も、レバー操作1つで簡単にOK。
- シャクリ中に魚が掛かっても、レバーをいちばん手前(OFF)に戻せばシャクリOFF、再びレバーを前に倒せば、通常巻上げになります。

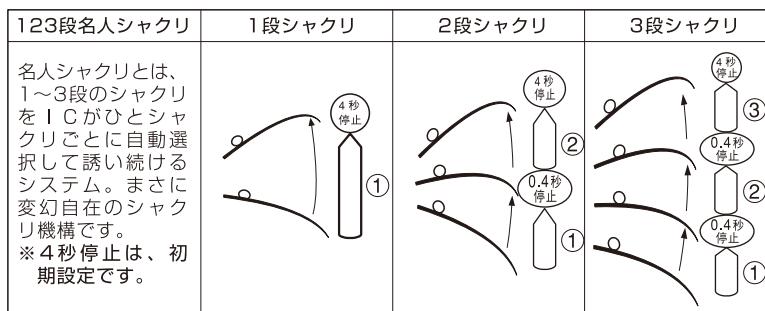
シャクリの選択

1. シャクリの「パターン」

- 1回のシャクリの長さを、何段でシャクリさせるかが選べます。



シャクリパターン



※図は竿でシャクリを表していますが、実際にはリールが巻き上げてシャクリをしています。

2. シャクリの「長さ」

- 1回のシャクリをさせる長さが選べます。(オモリの号数やシャクリのスピードによっては、多少オーバーランすることがあります)



3. シャクリとシャクリの間の待ち秒

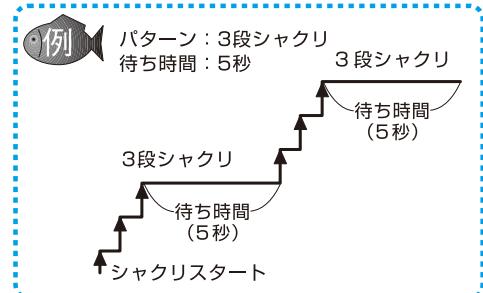
- シャクリとシャクリの「間隔(待ちの時間)」を選ぶことができます。

※間隔は1秒単位で設定できます。



注意

- 「シャクリ」の「秒数」より「コマセタイマー巻き上げ時間」の設定が短いときは、「コマセタイマー巻き上げ時間」を優先させて作動します。



操作方法(詳細) 6.その他の便利機能

●いろいろアラーム



船べり、棚メモリー…さまざまな情報を音でお知らせ、いろいろなアラーム。

・パワーレバーアラーム

- ・パワーレバーのMAXの位置と、OFFの位置をアラーム音でお知らせします。

・船べりお知らせアラーム

- ・巻上げ中、船べり停止6m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

・棚メモリーお知らせアラーム

- ・仕掛け投入中、メモリーした棚の10m手前より2m間隔でピッ、メモリーした棚ではピーッと鳴り、メモリーした棚にだんだん近付いて行くのをお知らせします。

※棚さぐり時に頻繁にアラームが鳴らないように、棚メモリーお知らせアラームはメモリーした棚より6m以上巻上げてから、再度糸を出さないと鳴らないようになっています。

・スイッチアラーム

- ・各スイッチを押すと、アラーム(ピッ)が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。(モード設定によりOFFすることもできます。)

・過電圧警告アラーム

- ・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

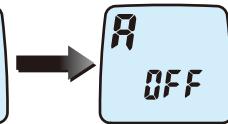
・タイマー巻上げお知らせアラーム

- ・コマセタイマー巻上げ前にアラームにてお知らせします。

●アラームON・OFF選択

アラーム音を設定により消すことができます。

ピッ!

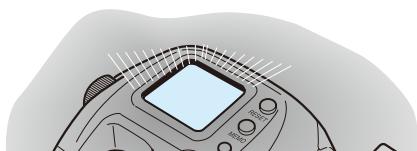


- ① MODE スイッチを開いてアラームON・OFF画面にしてください。
- ②パワーレバーを操作してOFFしてください。

- ③ PICKUP スイッチを押して水深画面に戻ったらセット完了です。
※パワーレバーやスイッチ音、船べりアラーム等すべてのアラームが消えます。

●カウンターランプ

朝早い出船や、夜釣りも安心。



- ・通電中はいつもカウンター内のランプがついていますので、朝早い出船や夜釣りのときも、カウンターパネルはくっきり見えます。

●ベルト交換時期のお知らせ表示

- ・ベルト交換おすすめ時期になると、リールを通電させた際に、アラーム音と図のようなお知らせマークが表示されます。このマークが表示された場合には、販売店様を通じ、メンテナンスの依頼をしてください。(有料)



操作方法(詳細) 7.ハンドルノブの取り外し方

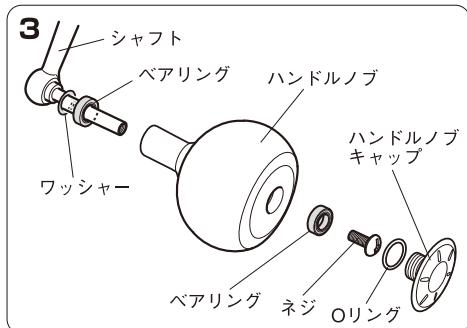
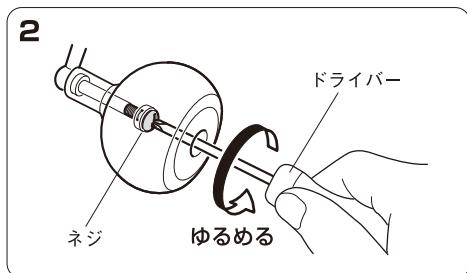
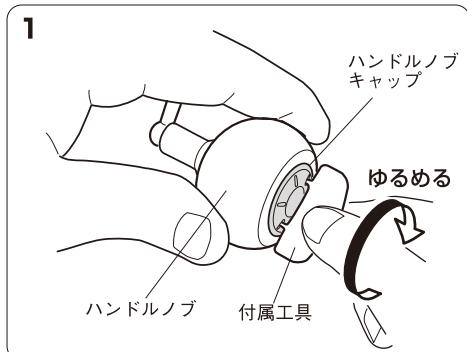
1.ハンドルノブを手で押えながら付属の工具でハンドルノブキャップをゆるめて外します。

※ネジは逆ネジになっていますので、ご注意ください。また、ハンドルノブキャップに付属工具をしっかりと組み合わせて回さないと、ハンドルノブキャップが傷付いてしまいますのでご注意ください。

2.ドライバーでノブ内部のスクリューをゆるめて外します。

※スクリューには、ゆるみ止め防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。

3.部品構成は図のようになります。



リール仕様一覧

●リール仕様一覧

製品コード			00801461
ギヤー比(手動時)			3.6:1
標準自重(g)			550
最大ドラグ力(kg)			10
標準巻糸量(m) ※ブライトとは、当社タナセンサー ブライト(PE)のことです。	3		430
	4		350
	5		300
	6		220
ボールベアリング入数			4
電源電圧			DC12V~16.8V
最大巻上力※1			45kg
常用巻上げ速度(1kg負荷時)※2			125m/min
JAFS基準巻上力※3			9kg
JAFS基準巻上速度※3			170m/min
電流(A)	無負荷時		3
	定格		8
	最大		13
変速機能	無負荷時	0~170m/min(無段階変速)	
最適バッテリー		ダイワスーパーリチウムシリーズ	

※このリールは、PEライン専用となっております。フロロカーボンライン・ナイロンラインはスプール破損の恐れがありますのでご使用はおやめください。

※1：最大巻上力=電源電圧13V、軸トルクによる参考値。(Kg=Kgf·cm)

※2：常用巻上速度=電源電圧13V、1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。

※3：JAFS基準巻上力/巻上速度=日本釣用品工業会規程、電源電圧13Vにおける測定値。

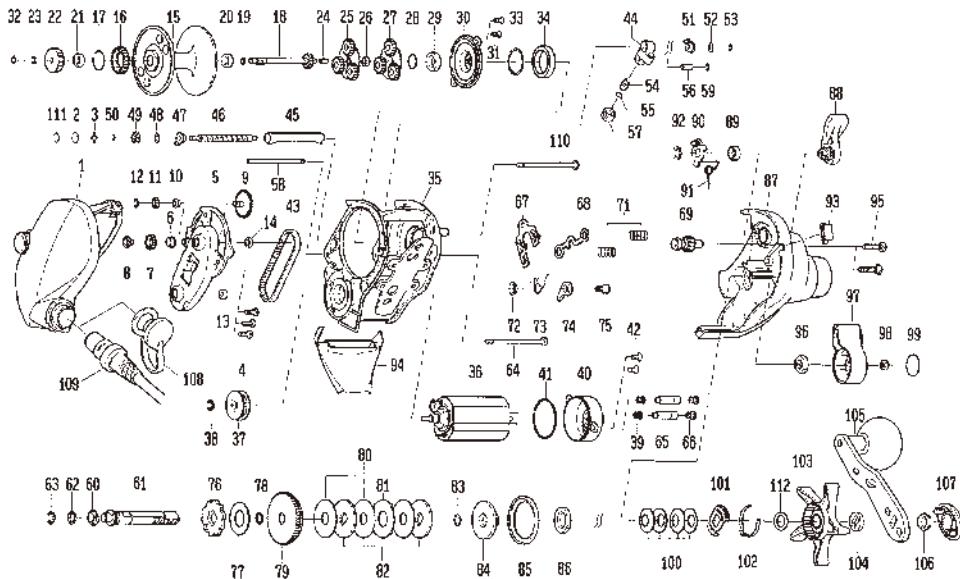
●カウンター部仕様

水深表示範囲	上のカウンター：0.0~999.9m 下のカウンター：-99.9~999.9m
使用可能温度	-10°C~60°C

※改良のため、仕様を予告なく変更することがあります。

展開図

レオブリット S400



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	ICEモジュール	31	スバルアーレットSC	61	ギヤシャフト	92	クラッチシリンダー
2	メニカルアーキW(A)	32	スバルシャフトギアW	62	ギヤシャフトカバー	93	ライストボルト
3	メニカルアーキW(B)	33	スバルアーレットドームリング W	63	ギヤシャフトリレー	94	フィガーハンドル
4	セトアーレットSC	34	スバルアーレットホースリバーリング	64	フレームSC(A)	95	RSアーレットSC
5	アイドリズ(ア)(B)	35	フレーム	65	コードカバー(ア)	96	パワードア-ナット(A)
6	アイドリズ(ア)(C)	36	モーター	66	コードカバー(Б)	97	パワードア-
7	アイドリズ(А)	37	モータギア	67	スイッチアーレット	98	パワードア-ナット(B)
8	アイドリズ(А)SC	38	モータギアアライナー	68	クレマアーレット	99	パワードア-キャップ
9	セトアーレットア	39	モータギアリバーリング(А)	69	ピゴン	100	ドラグSP-W
10	アイドリズ(А)(B)カバー	40	モータギア	71	クラッチアーレットSP	101	ドラグカバー
11	アイドリズ(А)(B)	41	モータギア-ドリング	72	ストップ-ガード	102	ドラグカバー-SP
12	アイドリズ(А)リレー	42	モータギア-SC	73	ストップ-SP	103	スヌードラグ
13	モータギアアーリング	43	モータギアアーリット	74	ストップ-	104	ハンドルカバー
14	スバルシャフトホースリバーリング	44	レバーアイント	75	ストップ-SC	105	ハンドル
15	スバル	45	ウォッシュル	76	ショット	106	ハンドルカット
16	LSスバルギア	46	ワームギヤ	77	ショットW	107	ハンドルキャップ
17	LSスバルギアアーリング	47	ワームギヤカバー(L)	78	ドライアオリケ	108	コネクタキャップ
18	スバルシフト	48	ワームギヤカバー(L)W	79	ドライアギア	109	コード
19	スバルシャフトW	49	ウォームギヤ	80	ドライW	110	フレームSC(B)
20	RSスバルギアアーリング	50	ワームギヤギアアーリテー	81	ドライアリブW	111	メニカルアーキW(C)
21	スバルシャフトホースリバーリング	51	ウォームギヤカバー(R)	82	ドライディスクW	112	ドラグカバーW
22	スバルシャフトギア	52	ウォームギヤカバー(R)W	83	ドライアオリケ	200	マニュル
23	スバルシャフトギアアーリテー	53	ウォームギヤアーリテー	84	ドライカバー	201	イドオビン
24	スバルアーレットギア(А)アーリング	54	ホーク	85	ドライカバーピッキン	202	JAPANESEシール
25	スバルアーレット(А)	55	ホークW	86	ドライアリブ		
26	スバルアーレットホースリバーリング	56	レバーアイントカバー	87	RSアーレット		
27	スバルアーレットギア(В)	57	レバーアイントキャップ	88	クラッチバー		
28	スバルアーレット(А)W	58	レバーアイントホース	89	クラッチカバー		
29	スバルアーレットギア(В)カバー	59	レバーアイントホースアーリテー	90	クラッチ爪		
30	スバルアーレット	60	ギヤシャフトピュ	91	クラッチカムSP		

*調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな？と考える前に

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ペー ジ
パワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	・船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が [0.0] mになっています。	・正常です。（巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります）RESET ボタンを押せば巻き上げ可能になります。	32
	・レバーを1度OFFの位置に戻していません。	・1度レバーをOFFの位置にもどして巻上げを開始してください。	15
	・安定しない船の電源を使用しています。	・船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	8
カウンターがつかない。	・バッテリーの残量切れです。	・バッテリーを再充電してご使用ください。	9
	・コードの断線です。	・コードを新品と交換してください。	11
	・バッテリーに [+] 、 [-] が正しく接続されていません。	・正しく接続しなおしてください。	8
底からカウンターがつかない。	・棚をセットしていません。	・正常です。（MEMOスイッチを押さないと底からカウンターは点灯しないようにしてあります）	27 13
チョイ巻きスイッチを押しても巻けない。	・速度設定が 0 になっているか、シャクリの設定になっています。	・モードを開いて速度を設定して、チョイ巻きの設定にしてください。	22,23
シャクリスイッチを押してもシャクリしない。	・パワーレバーが OFF になっています。	・パワーレバーでシャクリの速さを決めてください。	28,29 35
勝手に電動シャクリになる。	・バッテリー残量減少などによる電圧低下が考えられます。	・バッテリーを充電されたものと交換してください。	9
船べり停止位置がおかしい。	・仕掛けセットしたとき、RESET ボタンを押していません。	・仕掛けをセットした後は必ず水面 0 リセットをしてください。	25
	・オモリの号数や船のゆれによって多少ズレることがあります。	・えらべる船べり停止の設定値を調整してください。	26
	・糸がのびて水面 0 リセット点が下にズれてしまった。	・水面 0 リセットを再度行なってください。	25
カウンター表示に誤差が多い。	・使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	・基準となるところで、水面の 0 リセットをしてください。 ・表示補正をしてください。 ・再度道糸データを入力してください。	25 31 16~21

※上記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センター・最寄りの営業所におたずねください。

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたのですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

www.daiwa.globeride.co.jp/

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

6Y5908010